



小山 幹雄

しきの会・維新

児童公園について

●小山幹雄議員
親と子が遊べる公園の設営についてということだが、市の公園は、ご存じのとおり面積が狭いからボール遊びもできない。サッカーボールや野球ボールを持って公園に遊びに行くと、お年寄りの人たちから「ここは僕、だめだよ。ボール遊びはできないよ。ボールは持って帰りなさい」と言われてしまい一切遊ぶことができない。

そのため、親と子どもが遊ぶことのできる公園、キャッチボールのできる公園、サッカーボールで遊ぶことができる公園の設営を、ぜひ市で考えていただきたいが、いかがか。

◎都市整備部長

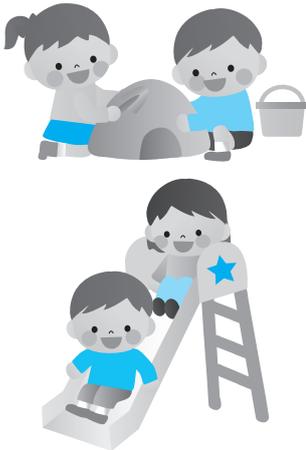
市内にある公園は、子どもたちから高齢者まで多くの市民の皆様が、遊び場としてだけでなく、憩いの場、あるいは交流の場として利用されている。

このようなことから、本市では安全に公園をご利用いただけるよう、都市公園安心・安全化計画に基づき、改修工事を進めている。

公園でボール遊びができるようにす

るためには、来園者の安全を確保するためのスペース分けをする必要があるが、既存の公園については、こうしたスペース分けができるだけの広さが無いのが現状である。また、新規に公園を整備するとすると、用地の確保や費用の問題など課題も多いところである。

しかしながら、ボール遊びのできる公園については、本市の公園づくりにとって大きな課題の一つと認識していることから、今後、既存公園の改修の進捗状況や財政状況などを勘案しながら、その確保についても考えていく。



その他の質問項目

●危機管理について

●穂坂 泰議員



穂坂 泰

しきの会・維新

要介護者の自立に向けた取り組みについて

●穂坂 泰議員
国の介護に係る財源も厳しくなり、自立支援を促しつつ介護費の抑制を国が進めている。この問題は非常に重要なことだが、今まで社会に貢献してきた方々の尊厳を守り、楽しく安心して老後を暮らせるよう、行政が支えることが重要である。

和光市方式の例を参考に、多くの自治体が認定率を下げるのに必死に取り組んでいるところだが、本市の認定率の考え方について教えていただきたい。

また、多くの地域で取り入れられている和光市方式の地域ケア会議があるが、本市では、どのような地域ケア会議を導入していくのか。

◎健康福祉部長

本市の65歳以上の高齢者のうち要介護認定者数は、平成29年9月1日現在2,420人で、認定率は13.5パーセントとなっている。このうち65歳から74歳までの前期高齢者の認定率が34パーセントであるのに対し、75歳以上の後期高齢者については、25.1パーセントと、およそ74倍にまで上昇する。

今後も、認定率が低く推移できるよう、積極的に介護予防事業等に取り組み、給付費の適正化や介護保険料の上昇の抑制に努める。

また、和光市方式と言われる自立支援型の地域ケア会議は、本市においても、アセスメントの書式や会議のコーディネート方法等について参考としている。予防や健康の保持増進とともに、介護支援専門員のケアマネジメントの質の向上に資するよう、本市に適した自立支援型地域ケア会議による支援体制を構築していく。



その他の質問項目

●新庁舎建設について

●円滑な消火活動について

●社会の課題を解決するための市民協働の方法について

●教育環境の向上について

一般質問

◎今村弘志議員



今村 弘志
公明党

県は、自動車メーカーと協定し、インターネット上に無料で地図情報（セーフティマップ）を公開した。

セーフティマップには、走行する車両のカーナビから収集した急ブレーキ操作情報、警察署が提供する交通事故情報を集約した事故多发エリア、市民が危険箇所を投稿する「みんなの追加地点」が表示され、パソコンやスマートフォンから閲覧することができる。

急ブレーキ多发箇所や警察からの事故情報、保護者から寄せられる危険箇所などの情報をもとに通学路の危険度を分析し、道路の危険性を事前に察知し、交通安全対策を実施することで、事故を未然に防ぐことが可能である。セーフティマップを活用して、情報共有と先手の安全対策を図るべきと考えるかがか。

◎教育政策部長

各校では毎学期1回以上、教職員が実際に通学路を歩いて、目視で危険箇所がないか確認をしている。

セーフティマップについては、車が

交通安全対策の推進について

急ブレーキをかけた情報がカーナビ経由で収集できたり、リアルタイムの道路情報を得ることができると認識している。

カーナビデータの活用については、県からの通知を受け、各校に周知を図っているところであり、セーフティマップについても、その利点を生かし、通学路の見直しや危険箇所の把握方法として役立ていきたいと考えている。

児童・生徒が常に安全に登下校できるよう、各校には引き続き定期的な通学路の安全確認について指導していく。



その他の質問項目

●環境対策の推進について

●健康施策の推進について

●高齢者の健康づくりについて



吉川 義郎
公明党

◎吉川義郎議員

近年、犬や猫の飼育頭数は2,000万頭を超えていると言われ、我が子のようにペットを愛している人は非常に多いと思う。災害が発生して指定の避難場所に移動する場合、ペットを飼育している人は、間違いなくペット同伴で避難所に行くと思う。

環境省は、2013年、災害時には、ペットは飼い主らの安全確保を前提に、飼い主と一緒に避難する同行避難を原則とするガイドラインを作成した。

各自自治体では、ペット同行の避難訓練を始めるところが増えているが、本市も、ペット同行の避難訓練を実施すべきであると思うが、ご所見を伺う。

◎総務部長

これまでの東日本大震災の経験などから、動物愛護の観点だけでなく、被災者である飼い主の避難の支援や、放浪動物による人への危害防止などの観点からも、飼い主とペットが同行避難することが合理的であると認識している。

防災訓練について

本市では、既に志木市地域防災計画において、ペット同伴で避難することを前提として、避難所における応急対策計画を定めている。

近年、ペットは家族の一員であるという意識が一般的になりつつあることから、今後、通常の防災訓練にあわせて、ペット同行訓練を実施し、避難所におけるペットの受け入れや、飼育に係る検討及び災害への備えなどに関する飼い主への普及啓発等を行っていく。



その他の質問項目

●子どもの健康施策について

●市民の利便性向上について

●放課後子ども総合プランについて



池ノ内秀夫
しきの会・維新

◎池ノ内秀夫議員

増え続ける交通事故、原因は自転車の信号無視、狭い歩車道での接触事故や、車によるスピードの出しすぎと言われている。

去る9月15日、近隣の三芳町の町道で、近くに住む小学3年生の女兒（8歳）が、ワゴン車にはねられ、頭を強く打って意識不明の重体、運転していた会社員（52歳）を現行犯逮捕。気づくのが遅れてぶつかってしまったと供述している。

羽根倉通りと袋橋通りは、制限速度30キロメートルとなっているが、60キロメートルからのスピードで走り抜ける車をよく見かける。この沿線には、小学校・保育園・中学校などの教育施設がある。歩行者、自転車通行も多く、通学路にもなっており、非常に危険な道路となっている。

悲惨な交通事故から、子どもたち・高齢者など、市民を守るためにも、定期的なスピード違反、取締りを実施するよう朝霞警察署に要請してほしい。

交通安全対策について

◎都市整備部長

羽根倉通り及び袋橋通りについても、路面標示や注意看板等によるスピード抑制対策を実施してきたところである。

スピード違反の取締りについて、朝霞警察署に確認したところ、継続的な取り締まりは実施していないとのことであるので、今後、定期的なスピード違反の取締りを実施してもらおうよう朝霞警察署に要請していく。

9月21日からは秋の全国交通安全運動も始まるわけであるが、今後も朝霞警察署と連携を図りながら交通安全対策に鋭意取り組んでいきたい。



羽根倉通り

◎天田いづみ議員



天田いづみ
リベラル市民21

昨年8月22日の台風9号の時、柏町1丁目、2丁目に避難勧告が出た。柳瀬川は、勾配が急なため、なかなか河道の流量を確保していくというのも厳しいことだと思う。

一方で、水谷調節池というのがあり、富士見市の都市開発の事業で調節池をつくっていくという、過去にはそういった動きがあった。現在は、県の河川整備計画において高橋上流の左岸側、旧リブレイヌ都市整備事業の区域内に柳瀬川流域の洪水を抑える対策として水谷調節池の設置が位置づけられている。

今後、水谷調節池についてはどのような計画なのか、また、整備などの状況はどのようになっているのか。

◎都市整備部長

河川管理者である朝霞県土整備事務所を確認したところ、富士見市における富士見リブレイヌ構想の開発と一体となった調節池の整備を前提として計画されていたものである。

しかしながら、富士見リブレイヌ構

水害対策について

想の事業が休止したことにより、県の河川整備計画による調節池として水谷調節池が位置づけられ、柳瀬川の洪水を最大で毎秒20立方メートル調節し、およそ6万立方メートルの容量を見込んでいるとのことである。

整備などの状況は、新河岸川流域全体の改修状況や整備効果などを踏まえて検討していくことである。

水谷調節池は、本市の水害を軽減するためにも重要な施設となることから、富士見市とも行政間の連携を図りながらスピード感を持って事業に着手していただくよう県に要望していく。



昨年、台風9号が通過した時の柳瀬川の様子

その他の質問項目

- 新公会計制度について
- 志木市の環境について

一般質問



河野 芳徳

しきの会・維新

◎河野芳徳議員

地震、ゲリラ豪雨、北朝鮮によるミサイルの発射など、近年、私たちが取り巻く環境は常に変化している。実際、地震が起きた際には、建物や道路が崩壊し、現場をすぐに把握することができないうちに、雨で冠水してしまった場合も、同じく状況をいち早く確認することができない。

そこで、いち早く確認することができなのがドローンではないかと考える。ドローンには、カメラ機能以外にも音声を録音、または物資を運ぶことも可能である。近年多くの自治体では、ドローンによる災害協定を締結している。災害発生時にドローンによる情報収集を行い、収集した画像を活用して被害地図の作成などを行うことで、災害応急活動と災害復旧活動を支援が可能である。

本市でも、災害時の情報収集においてドローンは有効的だと考えるが、ご所見を伺う。

◎総務部長

ドローンを飛行させる際には、風速

危機管理について

5メートル以上の状態では飛行させないこと、雨の場合や雨になりそうな場合は飛行させないことなど、国土交通省が作成するマニュアルに安全対策が記載されている。

このようなことから、ドローンの有効性、有能性は認識しているものの、商品が開発途上であること及び法整備の遅延などが見受けられる状況である。今後は、ドローンの耐水性やGPS搭載など、性能アップした製品開発や、飛行に関する法整備等の動向を注視しつつ、ドローンの活用方法など、埼玉県県南西部消防本部と情報を共有しながら検証していく。

その他の質問項目

●ドローンの活用について

●公園の遊具について

●選ばれる自治体に向けて



岡島 貴弘

こころざしの会

◎岡島貴弘議員

東日本大震災から6年半が経過した。大変残念なことだが記憶からも消え始め、風化が始まっている気さえするが、当時のことを申し伝え、次世代につなぐのには大人の使命である。

一方、被災地の現状を見ると、幾つかの産業は震災前に遠く及ばない状況が続いている。

東日本大震災被災地復興に向け、定期かつ、長期の直接支援を行うため、また、風化を防ぎ、本市民の防災意識の維持向上のためにも特定地域と相互に復興支援イベントを行うことは、本市、被災地の双方にとって大きなメリットがある。1日も早い完全復興に向け、復興支援イベントを行えないか、ご所見を伺う。

◎総務部長

本市では、阪神淡路大震災や台風第9号による水害などを教訓として、防災訓練や防災講座など、防災に関するさまざまな意識啓発を行っている。

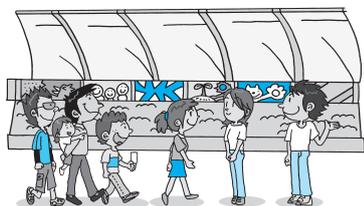
昨年の熊本地震で甚大な被害を受けた宇土市は、庁舎の建てかえを検討中

震災復興支援事業による防災力の向上と賑わい創出について

に被害に遭ったり、台風や集中豪雨などにより大きな被害を受けており、本市と共通することが多かったことから、熊本地震発生後、支援物資を配送し、現地視察もさせていただいた。

このような交流が防災協定の締結につながることも考えられるが、復興途中という状況であるので、時期を見きわめる必要があると考えている。

防災協定については、お互いが求める事項が一致したり、同じような想定災害を意識していることなど総合的に判断し、締結していけるという状況であるので理解いただきたい。



その他の質問項目

●職員の無免許運転発覚に対する再発防止策や車両管理等をどのように把握・管理して、市民の皆さまの信頼を取り戻すのかについて

戻すのかについて



鈴木 潔
しきの会・維新

避難所について

●鈴木 潔議員
平成27年8月、4年に一度の総合防災訓練が実施され、市議会でも議会防災訓練を行った。各議員はそれぞれの小学校の避難所に配置され、避難所に到着した時間や避難所の様子を報告するなどの訓練を行った。

避難所では、簡易トイレの組み立てなど多くの訓練があつたが、その中で、参加者から意見があつた。志木小学校は、他の避難所と違い、地下の体育館となっており地下のため換気がよくなく息苦しさを感じたが、その対応策について、また、災害時は地下の現状のトイレを使うのかなど、実際に避難所として使われた場合は、どのように対応していくのか、ご所見を伺う。

◎総務部長

総合防災訓練では、体育館に多くの市民が集まり、夏の暑い時期で雨天時の開催でもあったことから、息苦しいと感じる人がいたことを訓練後の反省会の報告より認識したところである。

志木小学校の体育館に関しては、平日においては空調設備を運転し換気な

どの調節を行っているが、休日は節電のため空調設備の電源を切っている

と聞いている。実際の大规模災害時には電気の供給が停止し空調設備が使えない可能性があるが、次回以降の総合防災訓練では施設管理者と連携し空調設備が運転できるように準備していく。

また、大規模災害等の避難時、空調設備の運転が不可能である場合は、排烟用の窓を開くこと、災害時のトイレの利用は、避難所運営マニュアルに基づき、小部屋を確保するなど対応策を講じていきたい。



総合防災訓練の様子
(志木小学校)

その他の質問項目

●市道整備について

●ドクターヘリの離発着場について



高浦 康彦
日本共産党

柳瀬川右岸の遊歩道について

●高浦康彦議員
柳瀬川の富士見橋から志木大橋間の遊歩道について聞く。

志木大橋の志木ニュータウン側の遊歩道と、上流の館第一排水機場側の遊歩道については、横断歩道もなく非常に危険である。アンダーパスの設置並びに富士見橋の遊歩道のアンダーパスの設置について聞く。

志木大橋から富士見橋での遊歩道について、複数の方から車椅子で走行ができるように、舗装をお願いしたいという声がある。また、この舗装とあわせて土手に車椅子が上がるよう、2か所ぐらいスロープを設置してほしいがいかがか。

◎都市整備部長

いろは親水公園や柳瀬川沿いの遊歩道の再整備については、県で進めている川の国埼玉はつらつプロジェクトに提案し、昨年度末に事業採択されたところである。

志木大橋と富士見橋のアンダーパスの設置、志木大橋から富士見橋までの遊歩道の舗装、土手に上がるスロー

プの設置を含め、現在協議を進めているところである。

なお、設置に当たっては、県では治水上の安全の観点などから、施設設置の可否について判断していくとのことである。質問のあった箇所の整備が実現されるよう検討協議会の中で県などと引き続き協議していく。



柳瀬川の遊歩道

その他の質問項目

●介護保険制度について

●臨時職員の雇用制度について

●空き家対策について

●障がい者への補助の拡大について

●共同墓地の設置等について

●ムクドリ撃退について



水谷 利美
日本共産党

◎水谷利美議員

宗岡地域の速度規制について。宗岡地域の詳細設計では、道路の設計速度は時速60キロメートルとなっている。ただし、地形の状況やその他の特別の理由により、やむを得ない場合においては時速50キロメートルまたは40キロメートルにすることができるといった記述がある。ここは市街化区域であるということを考えて、40キロメートルにしてほしいと思うがどうか、伺う。

住宅の地盤沈下が起きないように事前の対策をとらせてほしい。地盤の改良工事による地盤沈下によって住宅への被害について、どこでも紛争が起きているという状況になっている。このような事態を発生させないため、早い段階から対策などを市でも研究をし、県に提案するということを考えていただきたいがどうか、伺う。

騒音と振動も大変深刻な状況になるだろうと思われる。速度を弱めるということが振動と騒音に対して大きな効果があると思っている。交通事故の問題も含めて、大きな効果があると思うので、本市として問題意識を持って、県とのやり

一般国道254号バイパスについて

とりをしていただきたいが、伺う。

◎市長

市街地を通過することは認識しており、40キロメートルがいいのかという点については、理解もできる場所があるので、警察、朝霞県土整備事務所とも改めて協議をする必要があると考えている。騒音振動対策、特に騒音について、環状八号線の例をいただきたいので、その状況も確認していく必要があると思っている。

いずれにしても、市民生活が脅かされることのないよう、安全な体制をしていきたいと考えている。

◎都市整備部長

地盤沈下については、地質調査のデータなどを検討したうえで、適切に対応してもらおうよう朝霞県土整備事務所へ要望していく。

その他の質問項目

●教育行政について

●子ども医療費助成制度について

●交通対策について

●PFIの問題について



多田 光宏
NHKから国民を守る党

◎多田光宏議員

市で保有しているワンセグ機能つき携帯電話、カーナビの保有台数と、それらでNHKの放送受信契約をしているかについて、伺う。

市で保有しているフルセグ機能つき携帯電話、カーナビの保有台数と、それらでNHKの放送受信契約をしているかについて、伺う。

本市としては、ワンセグやフルセグの携帯電話やカーナビなどで、NHKと放送受信契約をするのか、しないのかについての方針を市長に伺う。

◎総務部長

市で保有しているワンセグ機能つき携帯電話は22台であり、カーナビは3台あるが、リース会社の保有であるため、市としては保有していない。NHKとの契約は、携帯電話で契約しているものはなく、カーナビについてもリース会社に確認したところ、NHKとは契約していないという状況である。

次に、フルセグ機能つき携帯電話は保有していない。カーナビは3台あるが、こちらもリース車両の附属品であるため、こちらもリース車両の附属品である

ワンセグなどでNHKと契約の義務があるかどうかについて

るため、市としては保有していない。NHKとの契約は、契約しているものはないという状況である。

◎市長

ワンセグ機能つき携帯電話を所有することによるNHKとの契約義務の存否については、これまで地方裁判所での判決が出されているが、現在も係争中であることから、市としては、現時点においては一定の方針を決めるような状況ではないということを理解いただきたい。

その他の質問項目

●公用車のドライブレコーダー設置状況について

●宅配ボックスの普及促進について

●ヒアリ対策について





安藤 圭介

しきの会・維新

◎安藤圭介議員

今後の本市における市民体育館の展望について質問する。

本市の各地域でサッカーやソフトボールをしている子どもたち、その子どもたちの親の世代の方々からご意見をいただいた。

クラブチームやサークルは本市においても多く存在する中、安く気軽に使えるスポーツ施設が求められている。その点、本市の市民体育館は、シャワーやロッカールームなどが老朽化しており、利用者からの不満の声も聞いており、今後、市民体育館の改修や建てかえについて、現状及び見通しはどのような状況なのか。

また、公共施設で現在フットサルが使用可能な場所があるのか、伺う。

◎教育政策部長

市民体育館は、建設から37年が経過しており老朽化による劣化が進んでいる。毎年、部分的な改修は進めているが、シャワー室などの水回りや、空調機器などの劣化が著しく、耐震化を含め、早急に今後の方向性を決定しな

スポーツ振興について

ればならないものと認識している。そのため、民間活力の導入を視野に入れた市民会館・市民体育館整備手法比較検討調査を実施しており、今後、調査結果を踏まえ、早急に決定する。

また、フットサルについては、使用可能な場所はないことから、今後、市民体育館の方向性が決定後、フットサルが可能な防護設備の設置なども含め、より安全で快適なスポーツ環境が提供できるように、スポーツ施設の整備充実を図っていく。



市民体育館

その他の質問項目

- 危機管理について
- 消火器の設置方法について

議会からのお知らせ

議長交際費 平成29年8月～9月

支出日	件	名	支出額
8月5日	宗岡三区町内会納涼盆踊り大会		3,000円
8月5日	柏町内会納涼盆踊り大会		3,000円
8月19日	ニューハイツ町内会夏祭り納涼盆踊り大会		3,000円
8月19日	宗岡六区町内会納涼盆踊り大会		3,000円
8月19日	中野町内会納涼盆踊り大会		3,000円
8月20日	城町内会夏祭り		3,000円
8月26日	シーズウィッシュ志木夏祭り		3,000円
8月26日	志木ハイデンス夏祭り		3,000円
8月27日	柳瀬川町内会納涼大会		3,000円

※9月の交際費の支出はありませんでした。

※志木市議会ホームページでも、議長交際費を公表しています。
<http://www.city.shiki.lg.jp/index.cfm/35.html>

平成29年第4回定例会
の会期日程（案）

月	日	会議の内容
11月	28日(火)	開会
11月	29日(水)	議案調査日
11月	30日(木)	議案調査日
12月	1日(金)	総括質疑
12月	4日(月)	議案調査日
12月	5日(火)	議案調査日
12月	6日(水)	議案調査日
12月	7日(木)	常任委員会
12月	8日(金)	議案調査日
12月	11日(月)	議案調査日
12月	12日(火)	一般質問
12月	13日(水)	一般質問
12月	14日(木)	一般質問
12月	15日(金)	議案調査日
12月	18日(月)	議案調査日
12月	19日(火)	閉会

※日程は予定であり、変更になることがあります。

※開議は午前10時からです。